



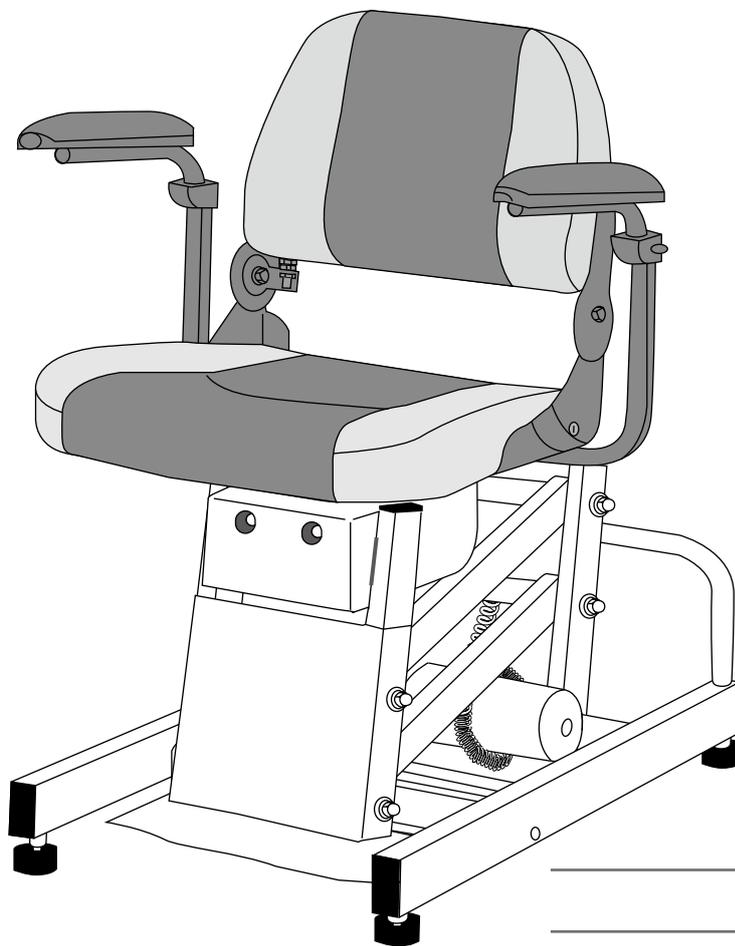
玄関先などの上がりかまちを安全に解消するリフトです!!

段差解消機

アルコー6000型

6000型

取扱説明書

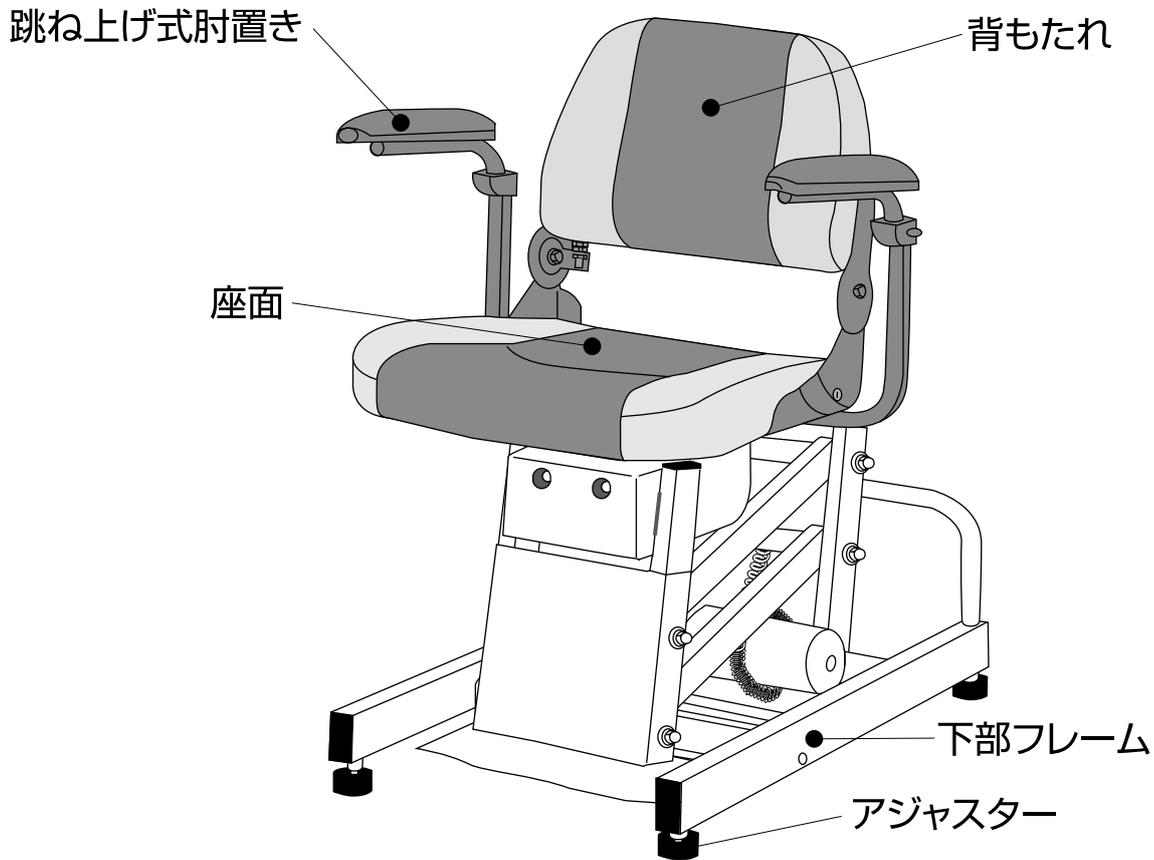


目次

各部の名称	P.1
安全上のご注意	P.2~3
設置に関する注意事項	P.4
使用方法の説明	P.5~6
各種機能について	P.7
オプション	P.8~9
保証とアフターサービス	P.10

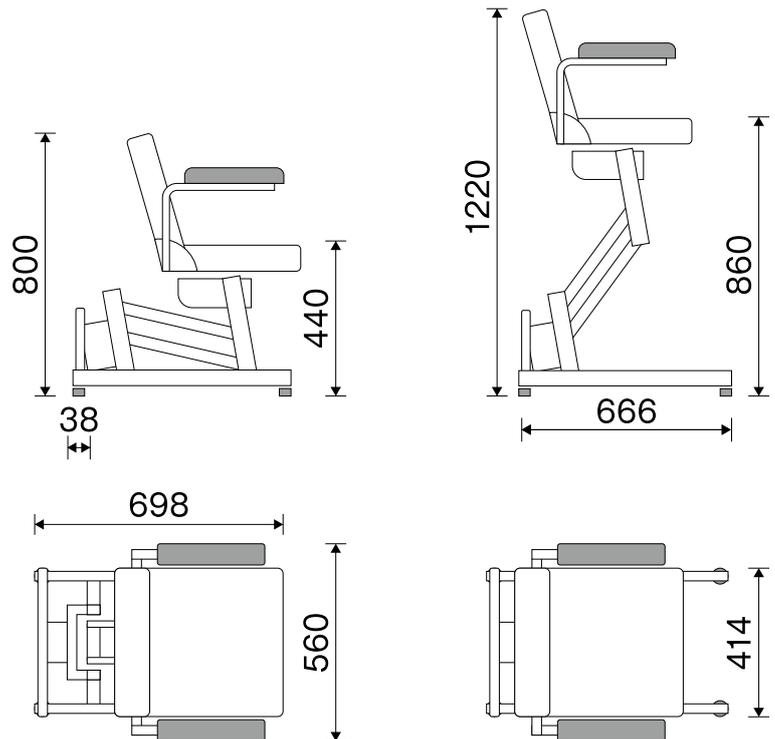
各部の名称

6000型



6000型

本体外寸(アジャスター含)	
	560×698×800mm
コード長さ	3,700mm
最低座高	440mm
最高座高	860mm
上下ストローク	420mm
アジャスター調高幅	25mm
座マット寸	
	幅400×奥行400×厚み60mm
最大許容荷重	100kg
入力電圧	AC-100V
定格周波数	50/60Hz
重量	33kg



■お使いになる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示で案内しています。その表示と意味は次のようになっています。

	警告	この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。
	「強制」	必ずしていただく内容を説明しています。
	「禁止」	してはいけない内容を説明しています。

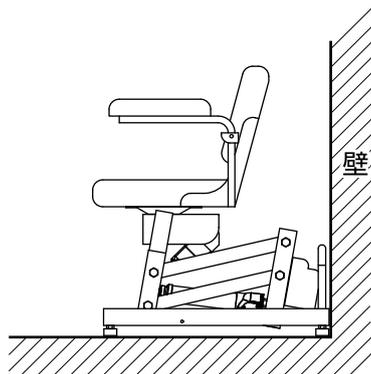
警告	
	<ul style="list-style-type: none"> ●使用前に必ず医療機関、介護支援専門員(ケアマネージャー)、福祉用具専門相談員などに相談して下さい。 ●取扱説明書に記載された手順どおりに正しく設置して下さい。 ●使用前に各部のねじ類、アジャスターが緩んでいないかを確認して下さい。 ●使用前には十分に安全確認をしたうえで介助者が付き添いのもと操作を行なって下さい。 ●介助者が付き添って操作をして十分に安全確認して下さい。 お一人での使用は事故・けがの原因になりますのでお止め下さい。 ●座面には必ず座って下さい。立って使用したり、不自然な態勢では使用しないで下さい。 バランスを崩し、転倒やけがをする原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●この製品は段差解消機です。他の用途には使用しないで下さい。 ●この製品は屋内専用です。屋外や半屋外などでは使用しないで下さい。故障の原因になります。 ●滑りやすい床面や柔らかい設置面など、不安定な場所では使用しないで下さい。 ●交流100V以外では使用しないで下さい。 ●回転と昇降を同時にしないで下さい。 ●2分以上連続して使用しないで下さい。 ●座面下の内側や本体が可動する場所に足や手指を置かないで下さい。 フレームの間に身体を挟み込んでけがをする恐れがあります。 ●座面の端に座って使用しないで下さい。必ず中央に深く座り上体が安定していることを確認してから使用して下さい。 ●座位のとれない方は使用しないで下さい。 ●飛び乗ったり揺すったりしないで下さい。バランスを崩し、転倒やけがをする原因になります。 ●座面に後向き・横向きで座り使用しないで下さい。事故の原因になります。 ●分解、改造はしないで下さい。故障や事故の原因になります。 ●次のような方は使用しないで下さい。転倒・事故・けがの原因になります。 <ul style="list-style-type: none"> ■自立歩行ができない方 ■体調が良くない方 ■幼児や小さなお子様 ■体格が合わず適切な姿勢が取れない方 ■目が見えない方 ■てんかんや発作症状のある方 ■この製品を使用中にアレルギー症状が出る方(金属アレルギーなど) ●破損や異常を発見した場合は直ちにコンセントを抜いて使用を中止して下さい。 そのままで使用すると重大な事故につながる恐れがあります。

注意

	●この製品の最大適応体重は100kgです。それ以上の荷重を加えると破損や故障の原因になります。
	●本体を設置する際、電源コードやリモコンコード等の配線には充分ご注意ください。 使用中に接触し事故や故障の原因になります。
	●本体付属のアジャスターを使用して本体を水平に設置して下さい。 水平がとれない場所では使用しないで下さい。
	●椅子を昇降・回転させる際には必ず肘置きを下ろして使用して下さい。
	●肘置きを跳ね上げる時は手指などを挟まないように注意して下さい。
	●お手入れは水に濡らした布か、柔らかい布でから拭きして下さい。 ひどい汚れの場合には、薄めた中性洗剤をしみ込ませた布で拭いて下さい。 中性洗剤以外の洗剤を使用すると、変質や変色、傷みの原因になります。
	●火気のそばで使用しないで下さい。
	●お手入れする時や長時間使用しない時はコンセントを抜いて下さい。
	●屋外や湿気の多い場所、火の近くや高温になる場所に放置、保管しないで下さい。 サビの発生、故障、変形の原因になります。
	●清掃にベンジンやシンナー、アルコール等の溶剤は使用しないで下さい。 変質、変色、割れが発生する原因になります。

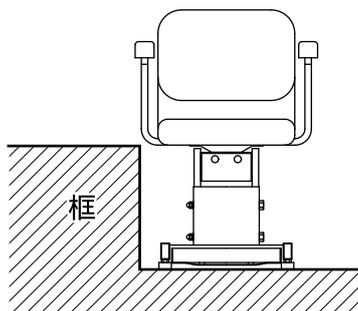
設置に関する注意事項

設置の手順



【壁側に対する設置手順】

- ①電源ボックス側を壁面に向けて下さい。
- ②壁面と本体の間隔を離さずに設置することも可能ですので、使用環境に応じた使いやすい位置に設置して下さい。
- ③アジャスターを調節して水平に設置して下さい。



【櫃側に対する設置手順】

- ①上がり框と平行な向きで櫃に付けずに離して置きます。
- ②座面が一番低い状態で回転させて上がり框に接触しないことを確認しながら少しずつ近づけていきます。
- ③上がり框に接触しない範囲内で使いやすい位置に設置して下さい。
- ④アジャスターを調節して水平に設置して下さい。

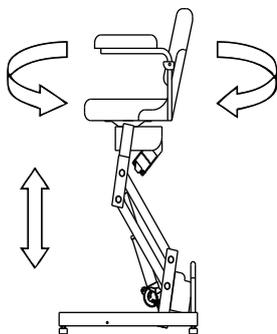


水平に設置されていないと上昇回転時に壁面と接触する恐れがあります。設置時には必ず確認して下さい。
必ず電源ボックス側を壁面に向けて設置して下さい。設置方向を間違えると転倒や事故の原因になります。
使用中に設置した位置からずれると壁・櫃を傷つける事があります。定期的に設置位置の確認をして下さい。
接地面が不安定な場合は使用をおやめいただくか、接地面を改修してから使用して下さい。

使用できない設置面の例

- 軟弱な土材の床面
- 小石などが埋め込まれている床面
- 急な傾斜のある床面
- 滑りやすい床材を使用している床面

作動範囲内の安全確保



使用する前には座面の最大高・最低高で座面を360度回転させ、障害物が無い事、作動スペースが充分確保されていることを確認して下さい。
また、移乗する際に必要とされるスペースも確保して下さい。
余裕のない設置をされると転倒や事故の原因になります。

電源コードについて

電源コードは利用者の歩行および作動範囲の障害にならないように配線して下さい。

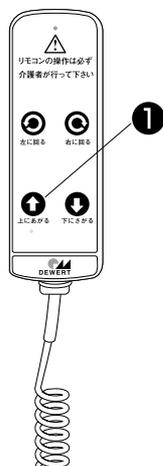
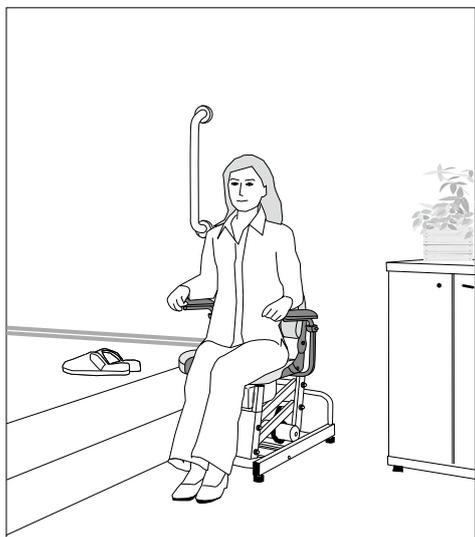


電源コードを破損された場合は直ちに使用を中止し、別売りの電源コードをお買い求め下さい。

使用方法の説明

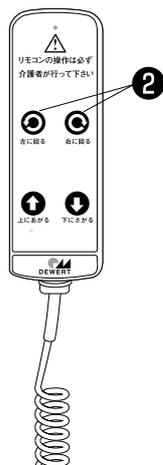
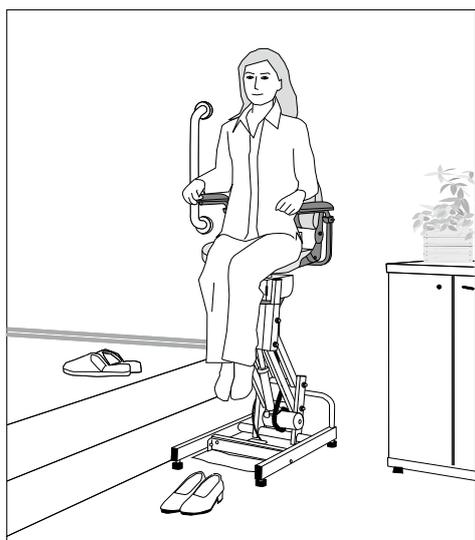
※必ず介助者の方が操作を行って下さい

①玄関側から室内側に移動する時の使用方法



1. ①のボタンを押して上昇して下さい。

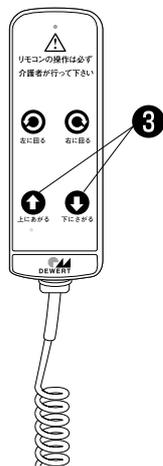
この時しっかり奥まで座れている事と、上体が安定している事を確認して下さい。
必ず肘置きを下ろして使用して下さい。



2. ②のボタンで左右どちらでも回転できます。
回転したい矢印方向のボタンを押して下さい。

この時座っている方の足先が上がり框の上まで上昇している事を確認して下さい。

足先が框の上まで上がっていないと回転が止まる安全構造です。



3. ③のボタンで立ち上がりやすい位置に調整して下さい。

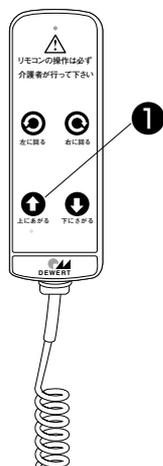
この時足が上がり框の上に充分のっている事を確認して下さい。

立ち上がりの際は、手すり又は介助があると安全です。

使用方法の説明

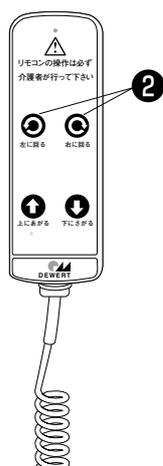
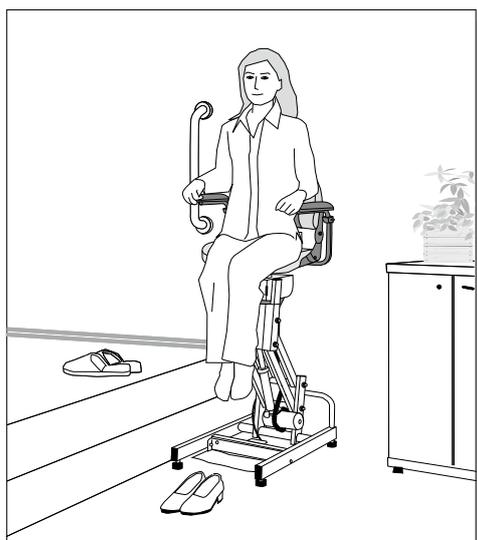
※必ず介助者の方が操作を行って下さい

②室内側から玄関側に移動する時の使用方法

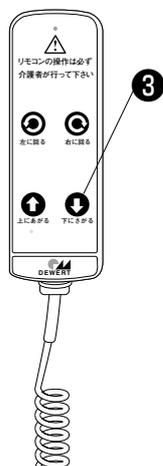
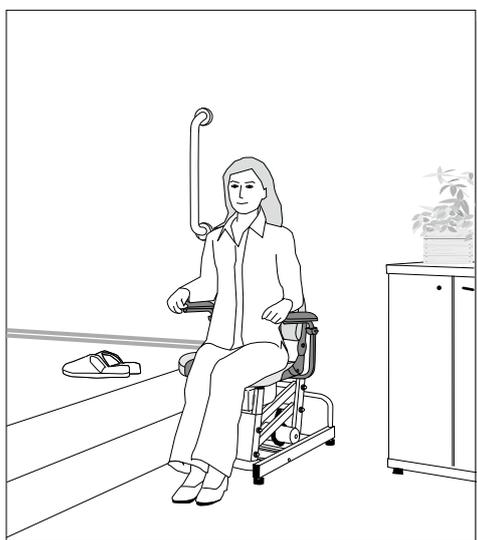


1. ①のボタンを押して上昇して下さい。

この時しっかり奥まで座れている事と、上体が安定している事を確認して下さい。
必ず肘置きを下ろして使用して下さい。



2. ②のボタンで左右どちらでも回転できます。
回転したい矢印方向のボタンを押して下さい。



3. ③のボタンで立ち上がりやすい位置まで下降して下さい。

下降の際、足元に障害物などがない事を確認して下さい。

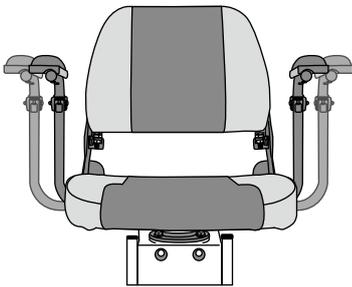
下降時に足などを挟み込むと停止し、自動的に上昇する安全構造です。

各種機能について

肘置き

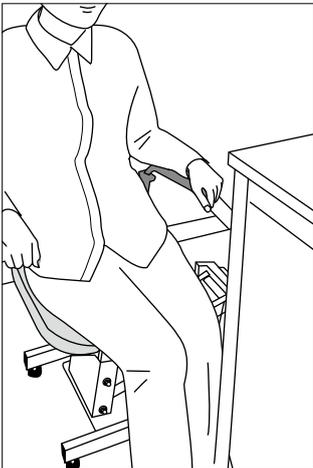


①肘置きは跳ね上げ式になっていますので、移乗する際に最適です。
作動時は肘置きを必ず下ろして下さい。

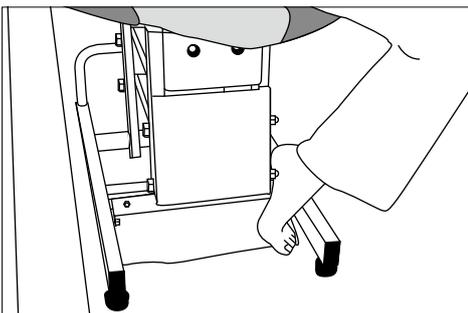


②背裏側のノブネジを緩めて肘置きの幅調節が可能です。
また背シートは前方に折りたたむ事が可能です。

安全装置



①座席回転時の挟み込みや衝突など、外部から負荷が掛かると
回転が止まる安全構造です。

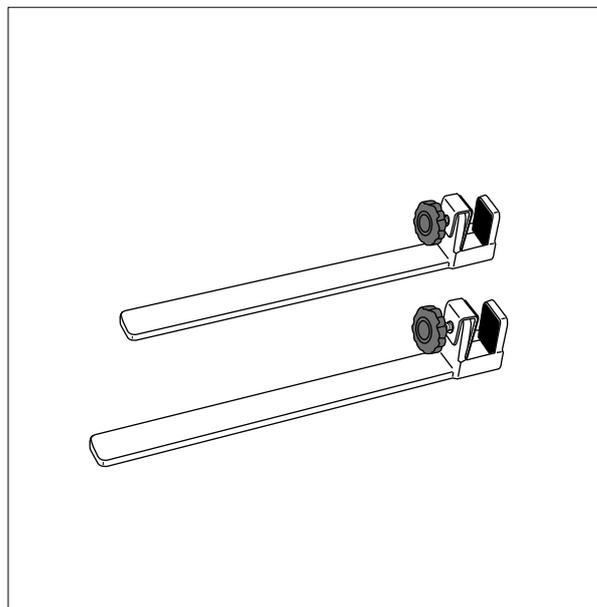


②下降時に足などを挟み込むとボタンを押したままでも停止し
ボタンを離すと自動的に上昇する安全構造です。
安全プレートから負荷を除去すると上昇は停止します。

オプション 補助金具

注意事項

- 取付作業は必ず二人以上で軍手等をはめたうえ行ってください。
- 二本の補強金具は可能な限り広くなるように取り付けて下さい。
- 凹凸や傾斜のない平坦な場所でご使用下さい。
- 使用場所のレイアウトに合わせて無理なくご使用下さい。
- 本体電源コード・リモコンコードなどが引っかからないようにご注意ください。
- ノブネジに緩みが無い事を定期的を確認して下さい。
- お手入れは本体と同じ方法でして下さい。



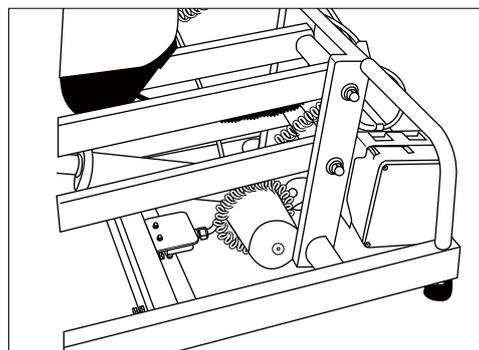
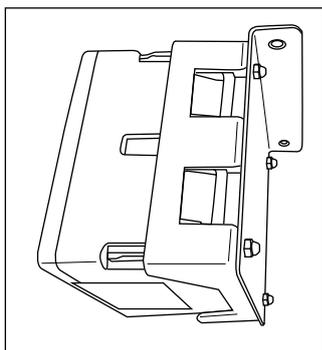
取付方法

- ①ノブネジを緩めて装着面（ゴムシート面）を広げて下さい。
- ②本体フレームの取付側を浮かせて下さい。
- ③補強金具を下からはめ込み、ノブネジを仮締めして下さい。
- ④本体を補強金具と一緒にゆっくりと下ろし、本体アジャスターが4箇所全て接地している事を確認して下さい。
- ⑤補強金具が地面に接地している事を確認し、ノブネジを締めつけて下さい。

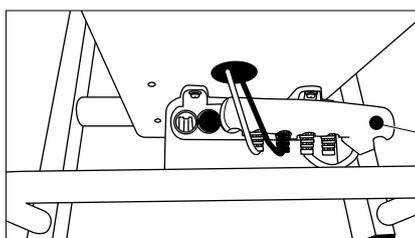
オプション 補助電源

注意事項

- 充電は電源ボックスにコンセントが繋がれている状態で自動で行われます。
- 電池残量ゼロからの充電時間はおよそ14時間です。
- 1日1回の充電をする事はバッテリー寿命をより長くします。
- バッテリーが完全放電した後に数か月経過しますと再度充電が出来なくなりますのでご注意願います。
- 長時間の保管時は高温多湿な場所は避けて下さい。
- 破損の恐れがありますので分解したり衝撃を与えないで下さい。
- 万一バッテリー液が漏れ出てしまった場合は、水でよく洗い流しすぐに病院の診察を受けて下さい。

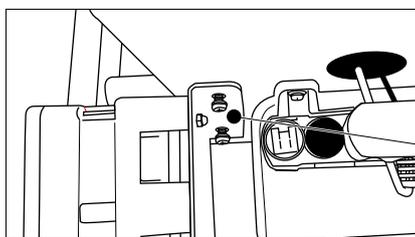


取付方法



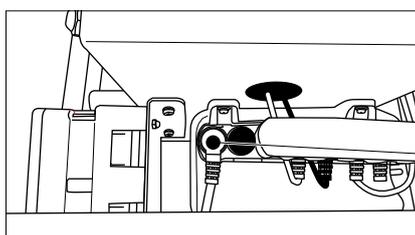
①電源ボックス上部のカバーを外して下さい。

カバー



②付属のビスで補助電源を本体に取付けて下さい。

ビス



③左端の差し込み口にコネクタを差し込みカバーをはめて下さい。

コネクタ

1.保証書

保証書は必ず所定の事項を記入のうえ大切に保管して下さい。

2.修理を依頼される時

以下の内容をご確認のうえお買い上げの販売店までご連絡下さい。

●連絡していただきたい内容

品名とお買い上げ日

破損・異常の内容をできるだけ詳しく

施設名、お名前、ご住所、電話番号

●保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。

ただし、保証期間内でも有償になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた後は

修理により使用できる製品については、ご希望により有償で修理いたします。

3.部品の最低保有年数は

補修用性能部品は製造打ち切り後5年保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4.ご相談について

お手入れ・お取扱い方法などでお困りの場合は、お買い上げの販売店までお問い合わせ下さい。

保証書

品名	
お買い上げ年月日	
お買い上げ販売店名	

【保証規定】

- 1.この商品の保証期間はお買い上げの日より1年間です。
- 2.保証期間内は部品の欠落や加工不良など、メーカーの責任によるものは無償で修理いたします。
- 3.次のような場合は、保証期間内でも修理は有償となります。
 - a. 使用上の誤りや取扱い不注意による故障・損傷
 - b. 弊社以外で行われた不当な修理や改造による故障・損傷
 - c. タイヤ・車輪・ブレーキパッドの自然消耗
 - d. 地震や風水害などの天災及び事故や火災などによる故障・損傷
 - e. 間違った使用方法で生じた故障・損傷
 - f. 気温・湿度などが特殊な環境の中で使用して生じた故障・損傷
 - g. 取扱説明書に従わないで生じた故障・損傷
 - h. 日本国外でご使用の場合
- 4.一度使用したものは原則として製品のお取替えは出来ません。
- 5.この商品を第三者にお譲りになられる場合、本書も必ずあわせてお渡し下さい。
- 6.この保証書がない場合は保証対象外になります。

S H 医 療 器 械 器 具 製 造 元
アルコー在宅介護医療訓練器械

株式会社 **星光医療器製作所**

本社・工場 〒578-0901 東大阪市加納5丁目11-6
TEL (072)870-1912(代)
FAX (072)870-1915

URL <http://www.aruko.co.jp/>
E-mail : seiko@aruko.co.jp

(平成26年4月初版)